

# 唐津港(妙見地区)岸壁(-7.5m)(改良)工事施工ステップ



施工着手前



①舗装・背後土砂撤去



②グラウンドアンカー施工

グラウンドアンカー

赤枠:グラウンドアンカー施工箇所(①,②)  
青枠:ケーソン部材撤去箇所(④,⑤)  
海面:汚濁防止膜設置箇所(③)

グラウンドアンカーを設置するために、ケーソン背後の舗装及び土砂を撤去します。その後、グラウンドアンカーの基礎を施工します。

グラウンドアンカーを支持地盤まで設置し、プレストレス(事前の抵抗力)を与えることで、地盤とケーソンの一体化を図ります。



③汚濁防止膜設置

汚濁防止膜



④ケーソン部材撤去

ワイヤーソー

ケーソン部材を撤去する前に、周辺海域へ汚濁水の流出を防止するため、汚濁防止膜を設置します。

ワイヤーソーイング工法により老朽化したスリット部を切断します。切断したケーソン部材は、東港地区の仮置場へ運搬します。



⑤直立消波ブロック据付

ブロック製作状況

ケーソン部材の撤去完了後、直立消波ブロックを据え付け、上部工の施工等を行い、改良工事は完了します。